

じゅうぎょうしゃ じぎょうしょひょうか しゅうけいけっか  
**従業者からの事業所評価の集計結果**

公表日：2025年1月28日

実施期間：2024年12月3日～2024年12月9日

事業所名：町田市子ども発達センター

対象の職員数：11人

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・ 改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち込んでの専用の教具教材は現時点では少ない。</li> <li>できるだけ訪問先になる教材を資源にして支援を提案できるように工夫している。</li> <li>教具、教材を使用したことがありません。</li> <li>今までの訪問で教具教材を使ったことはありません。</li> <li>"絵カードの紹介"</li> <li>"スケジュール表の提示の仕方"</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援の場で活用する教具教材については、所属園の方針や状況について共有したうえで、ご提案していきたいと考えます。</li> <li>お子さんの集団適応に役立つ教具・教材や視覚提示カードなどのツールの具体的な使用方法などをご提案できるよう努めてまいります。</li> </ul>
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約者は増加傾向にあるが、対応はできている。可能であれば人員を増加してほしい。</li> <li>希望者が増えている為、職員がもう少し増えると良いと思う。</li> <li>週1の子ども（全員ではないが）については週1の担当が訪問を担当するという形は良かった。</li> <li>職員の増員が必要</li> <li>担当数を考え配置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズにあった人員配置については、課題として認識しています。今後も業務の効率を図り、より効果的に支援を提供できるよう取り組んでまいります。</li> </ul>
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議やチャットで改善がされている。</li> <li>月に1度の定例会の中で確認する機会を設けている。</li> <li>訪問内容を他の職員と振り返る機会が現状では書面の確認中心になるので、振り返る機会を増やしていけるとよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の訪問支援に関する定例会を実施し、課題の共有と改善に向けた支援員の意見交換・検討を重ねています。</li> <li>個々の事例についての振り返りについては、十分な時間を設けていとは言えません。効果的な振り返りの場を設け、質の向上につながることを具体化させてまいります。</li> </ul>

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答数が少なかったため、次回は回答率を上げる方法の検討が必要。</li> <li>・月に1度の定例会の中で情報を共有し、改善に努めている。</li> <li>・評価をしてから、その後どうか等訪問園に確認をして共有し、保護者にも伝えている。</li> <li>・保護者向け評価表も今年度からの取り組みなので、今後業務改善につなげていく必要がある。</li> <li>・会議等で共有し、改善について話し合うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方々のご意向は、事業の質を高めるために非常に重要な意見と認識しております。月に1度の定例会等を活用し、改善点を職員間で共有し、支援の質の向上を図っています。</li> </ul>
5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議やチャットで把握・改善につながる機会が設けられている。</li> <li>・月に1度の定例会を実施し、意見交換・共有を行っている。</li> <li>・機会は設けられているが、業務改善につながっている分野とそうでない分野があるので、進んでない分野について改善していけるとよいと思う。</li> <li>・会議等で改善点について話し合うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も月に1度の定例会等を活用し、意見を把握する機会を設けながら、業務改善につなげていきます。</li> </ul>
6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後実施するか検討は必要。</li> <li>・まずは第三者評価が実施できるとよいと思う。</li> <li>・会議等で具体的な方法について話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は、実施に向けて引き続き言及してまいります。</li> </ul>
7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援用の研修の機会を設けることが出来た。</li> <li>・保育所等訪問支援をテーマとした研修会に参加した。</li> <li>・今年度、外部講師を招いて、保育所等訪問支援についての研修を受けることができ、大変有意義だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質の向上については、年間を通して計画的に研修の機会を設けています。</li> </ul>

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	8	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭に合わせた計画が作成できている。</li> <li>保護者のニーズを確認し計画を立てている。また、その際に、訪問園にも母の意向を伝え、共有してから訪問するようにしている。</li> <li>発達検査未実施の時や、事前に明らかな他の評価が必要な時には実施した上で、所属機関や家庭での様子を把握し、保護者ニーズを確認し、保育所等訪問支援計画を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の通り、実施しています。</li> </ul>
	9	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者を中心に多職種が連携しながら検討が行われている。</li> <li>多職種支援や家族支援を行い、担当者一人での判断にならない工夫も行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画の策定や実施後においても、職員間でのフィードバックを行っています。また、多職種の支援員による連携を図ることで、支援の質の向上を目指します。</li> </ul>
	10	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当が子どもに対する思いや願い、実現可能な支援について確認して支援を提案するように意識している。</li> <li>必ず事前に意向を確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所等訪問支援計画の立案においては、保護者やお子さんの希望に基づき、訪問先施設の担当者や担任の方々からもお子さんの様子や意向を事前に確認し、計画を作成しています。</li> </ul>
	11	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>供覧で確認。</li> <li>担当者全員型の職員の計画を供覧している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての担当者が供覧を通して計画内容の確認を行い、共通理解を深めています。</li> </ul>
	12	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前の子どもには新版K式発達検査を実施しているが、就学後の子どもに対しては当センターとしての標準化された検査は実施できていないので、他の機関で実施の際には、情報を共有させてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新版K式発達検査2020」を実施して、お子さんの発達についてアセスメントを行っています。その他、言語面や手先の運動面等について、必要に応じて専門スタッフがアセスメントや相談を実施しています。</li> </ul>
	13	100%	0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の通り、実施しています。</li> </ul>

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書や報告書については、文書管理の供覧で共有できている。また、多種職支援で訪問する際は、一緒に訪問する職員と連携しながら訪問をしている。週1グループや市単グループの子については担当と共有している。</li> <li>担当職員で供覧している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんが訪問支援以外の事業を利用している場合においても、担当職員全員に支援の方針について共有を図っています。</li> </ul>
	15	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員が多いため、全員での共有には至っていない。</li> <li>必要時に事前の打ち合わせや訪問時の多職種連携を積極的にやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員での打ち合わせが難しい場合でも、必要な情報を効率的に共有できるよう、帳票を活用して情報を可視化し、いつでも確認できる体制を整えています。</li> </ul>
	16	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員では行っていない。</li> <li>必要に応じて、多職種で連携を行い、支援の充実を図っている。</li> <li>必要時に振り返りを行っているが、必ずではないので、振り返りをすることを確認していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて多職種で連携を図り、各専門職の視点を活かした振り返りを行うことで、より充実した支援を提供できるよう努めます。</li> </ul>
	17	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先の理念や支援方法を尊重したうえで、可能な支援を検討するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先の理念や支援方法を尊重しながら対応可能な方法をご提案することを基本としています。事前の情報共有や定期的なフィードバックを通じて、お子さんの集団適応の向上を図ることができる支援を提供しています。</li> </ul>
	18	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書を担当職員全員で供覧している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書を担当支援員全員で共有し、必要に応じて改善を行っています。</li> </ul>
	19	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね6ヶ月に1回以上の支援計画の見直しを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね6ヶ月に1回以上、保護者の意向やお子さんの様子、訪問先の意向を確認し、訪問支援計画を見直しを行い、支援の質を維持しています。</li> </ul>

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて関わる子を担当することもあるが、保護者や所属園にお子さんの様子を確認し、必要情報を取得してから訪問するようにしている</li> <li>直接の担当者が出席している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、担当者会議等に参加し、お子さんの状況把握に努めています。</li> </ul>
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の連絡会などに参加すること、個々の機関との連絡を取ることを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の連絡会に参加し、個々の関係機関とも積極的に連絡を取り合うことで、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などと連携した支援体制を整えています。</li> </ul>
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問前に支援内容を確認し、訪問時に計画書を訪問先に配布している。</li> <li>転園時に情報共有が不十分なことがあったので、今後転園時にも情報共有していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学時の移行では、就学にかかる連絡会や就学支援シートを活用して、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。</li> </ul>
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘱託医である児童精神科医師とともに、学童保育クラブに訪問を行い、支援について助言を受けたことがある。</li> <li>外部から専門の講師を招いての研修を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の向上のため、児童精神科の嘱託医と共に学童保育クラブを訪問を行い、支援に関する助言を受けました。また、外部から専門講師を招いた研修を実施しています。</li> </ul>
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加していることを担当職員全員が認識できるようにしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、地域の会議等へ参加する体制を整えています。</li> </ul>
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援のみの利用の場合は電話連絡がやり取りの中心になるため、面談時に近況を詳しく聞くように意識している。</li> <li>週1日通園担当職員が担当グループの子どもの所属園に訪問する場合は、保護者と定期的に会うことができ、密に話ができる。</li> <li>訪問後に変化があったか等その後の確認もしている。</li> <li>この共通理解なくして、保育所等訪問支援は実施できないと担当職員が再確認できるとよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問後にお子さんの変化やその後の状況についても確認を行うことで、継続的な支援の質を向上させています。保護者からのフィードバックを大切にし、支援方針に反映していきます。</li> </ul>	

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の方は対象になっているが、なっていない方がいるので広がってけるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアレントプログラム(にここプログラム)や保護者研修会を実施しています。</li> </ul>
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から、契約日を平日に加え土日にも実施し、契約希望者が参加しやすい設定を行っている。</li> <li>契約時に丁寧な説明を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から、利用者の利便性を考慮し契約日を平日だけでなく土日にも設定しました。契約時には、運営規程や利用者負担について丁寧に説明を行い、利用者の理解と安心感を高めています。</li> </ul>
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めてセンターから訪問する園に対してはセンターのパンフレットを渡し、事業の目的を伝えた。</li> <li>毎年、年度初めに、訪問対象機関への周知を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規訪問先にはパンフレットを提供し、事業目的の説明を行っています。年度初めには、関係機関へ事業案内を配付し、周知活動を行っています。</li> </ul>
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>この点は必ず確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画作成時には、お子さんや保護者の意思を尊重し、最善の利益を考慮するために、面談や電話で意向確認の機会を設けています。</li> </ul>
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画説明の際は、来所での面談、電話、オンライン面談等、複数の手段で対応できるような体制を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容を説明し、保護者から同意を得ています。また、電話やオンライン面談など複数の手段で意見を伺う体制を整えています。</li> </ul>
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問前の聴き取り、訪問後の報告等の機会に相談を行っている。更に必要時の相談も実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族等からの子育ての悩みや相談に対して、訪問前の聴き取りや訪問後の報告などの機会を通じて適切に対応しています。さらに、必要に応じて随時相談を実施しています。</li> </ul>
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状ではそのような支援はない。</li> <li>保護者研修会は全員を対象に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者を対象とした保護者研修会を実施しています。</li> <li>その他の保護者同士の交流やきょうだい同士の交流を支援する取り組みについては、今後の課題と認識しています。</li> </ul>

保護者等への説明等

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・担当者以外の職種も相談に対応できる。	・相談や申入れに迅速かつ適切に対応するため、担当者以外の職種も含めた体制を整備し、お子さんや保護者に周知しています。
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%	・まちだ子育てサイトに、保育所等訪問支援の事業案内について詳細に記載している。 ・HUGシステムを利用して連絡体制は取れている。 ・連絡について今年度からアプリを活用している。	・まちだ子育てサイトに事業内容の詳細を記載しています。今年度から成長療育支援システム「HUG」の活用により、必要に応じて情報を発信しています。
	35 個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		・個人情報保護研修を職員全員が受講し、取り扱いには十分に注意しています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		・意思疎通や情報伝達は、丁寧に話を聞くことを重視し、配慮をもって対応しています。
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	・必要時に相談できることを周知している。	・訪問先からの相談には、速やかに対応をしています。担当支援員だけでなく、多職種連携をしながら助言や支援をする機会を設けています。
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	・実施後のカンファレンスは、訪問先施設の職員との面談、電話やオンライン面談等の複数の手段で実施できる体制を整えている。 ・必ず振り返りを行っている。	・訪問直後に対面、電話やオンライン面談等の複数の手段で、訪問先施設とカンファレンスを実施しています。
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	・電話やオンラインでの報告と、報告書の送付を行っている。	・対面、電話やオンライン面談等の複数の手段で、家族等への支援内容の共有を図っています。
	40 個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		・個人情報保護研修を職員全員が受講し、取り扱いには十分に注意しています。
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	・その場で助言できない内容が含まれていた時には、確認後に助言している。	・左記の通り実施しています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
非常時等の対応	42	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問事業利用者のみに対する訓練等は行っていないが、保育所等訪問事業と並行して児童発達支援を利用してしている家庭には行えている。</li> <li>・センター内で想定した際の訓練はしているが、出先での訓練は行っていない。</li> <li>・職員は周知、訓練を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP(事業継続計画)を策定し、職員を対象とした研修・訓練を実施しています。</li> <li>・自衛消防訓練の年間計画に基づき、地震・火事を想定した月1回の訓練を実施しています。また、年1回の不審者対応訓練を実施しています。</li> </ul>
	43	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問事業と並行して児童発達支援を利用している家庭には行えている。</li> <li>・計画の作成が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害や感染症の蔓延等、有事の際でもできる限り最低限のサービスを提供し、事業を継続するための計画を策定しています。</li> </ul>
	44	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼やミーティングで報告を行い、改善策について検討する機会がある。</li> <li>・毎朝のミーティングにてヒヤリハットを共有し、再発防止や重大な事故の発生を防いでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの状況の分析と対応についての記録を「ヒヤリハット集」としてまとめ、再発防止に役立てています。</li> <li>・ヒヤリハットの内容・改善策については、毎日のミーティングや定例会議において職員全員に周知し、危険予防につなげています。</li> </ul>
	45	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年虐待防止の研修を受ける機会がある。</li> <li>・毎年確実に研修を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を設置し委員会の開催、虐待防止チェックリストの実施、職員全員を対象にした虐待防止研修を実施しています。</li> <li>・「町田市子ども発達センター虐待防止のための指針」を策定し、遵守しています。</li> </ul>
	46	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の適正化については、委員会を設置し、「町田市子ども発達センター身体拘束適正化のための指針」を策定し遵守しています。</li> </ul>